

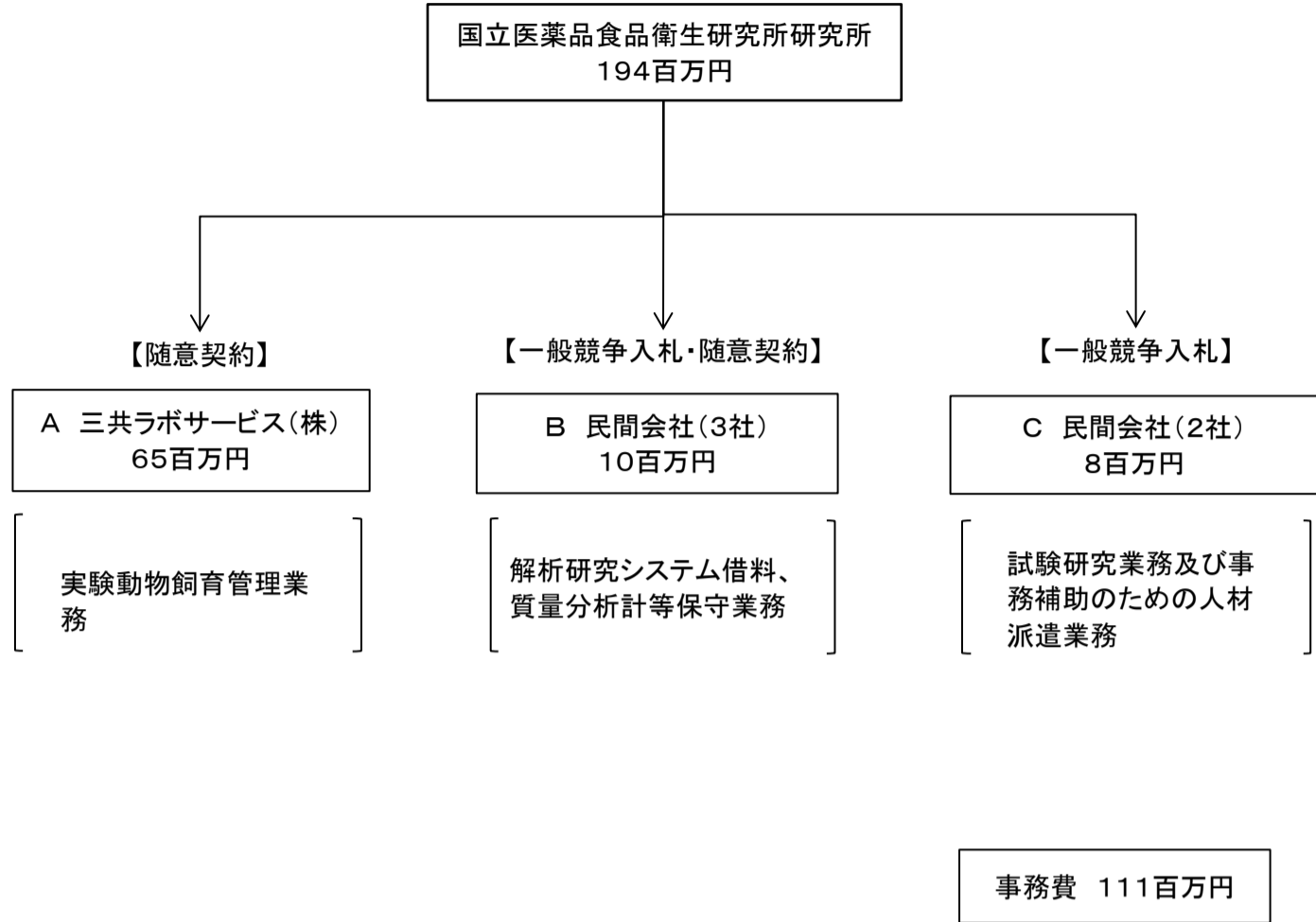
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	国立医薬品食品衛生研究所基盤的研究費		担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	総務部会計課		渡邊 裕一	
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医薬品、医療機器、食品、食品添加物及び生活関連物資等に関する基礎的・基盤的研究を行い、科学技術の進歩による国内外における諸分野の動向を踏まえた最新の規格・基準の策定等に寄与することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①医薬品の品質・有効性・安全性確保に関する基盤研究 ②食品及び食品添加物等の品質・安全性確保に関する基盤研究 ③医療機器及び生活関連物質の品質・有効性・安全性確保に関する基盤研究 ④医薬品・食品・食品添加物及び生活関連物質等に係る各種毒性試験法等に関する基礎的・基盤的研究を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		当初予算	196	196	195	185	183
		補正予算					
		繰越し等					
	計	196	196	195	185	183	
	執行額	196	196	194			
執行率(%)	100%	100%	99%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	基礎的・基盤的研究に係る経費であるため、定量的な成果目標を設定することはできない。		成果実績	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	基礎的・基盤的研究に係る経費であるため、定量的な活動指標を設定することはできない。		活動実績(当初見込み)	—	—	—	—
単位当たりコスト	—		算出根拠	—			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	試験研究費	185	183	消耗品費の見直しによる減			
	計	185	183				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・実験動物飼育管理業務について、専門的知識・技術及び経験に基づくノウハウを継続的に確保する必要から、随意契約を締結した。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・各研究課題については、「厚生労働省の科学研究開発評価に関する指針」に基づき、所内研究開発課題評価委員会において研究課題の評価を行っており、研究の効果的な実施に努めている。 ・執行管理表により支出先及び使途等について管理を行い、経費の適切な執行に努めている。 		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	国立医薬品食品衛生研究所基盤的研究費について、恒常的に多額の不用が生じているわけではないものの、執行実態を精査のうえ効率化を図ること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
事業実績を踏まえ、事業に必要な経費を精査し、消耗品費の見直しを行った。 （反映額：▲7百万円）			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足
する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.三協ラボサービス(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	実験動物飼育管理費	65			
計		65	計		0
B.NTTファイナンス(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料	解析研究システム賃貸借	4			
計		4	計		0
C.WDB(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	試験研究業務及び事務補助のための人材派遣業務	7			
計		7	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三協ラボサービス(株)	実験動物飼育管理業務	65	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NTTファイナンス(株)	解析研究システム賃貸借	4	随意契約	
2	日本電子(株)	質量分析計保守業務	3	2	100%
3	(株)帝国理化	システム保守業務	3	2	100%
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	WDB(株)	試験研究業務及び事務補助のための人材派遣業務	7	—	—
2	(株)リクルートスタッフィング	試験研究業務及び事務補助のための人材派遣業務	1	—	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					